

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和58年8月8日 第18報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	20		
(藍) <i>Anabaena</i> sp.*	80		
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	780	○	
(珪) <i>Synedra acus</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	140		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	320		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	○
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluviatile</i>	160		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	80		◎
(緑) <i>Spondylosium moniliforme</i>	20		
(藍) 藍藻綱	140	4.5	7.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	960	31.2	21.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	1.3	1.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1940	63.0	69.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3080	総体積	6.14E+06
種 類 数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	780

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。